

# 第5期 雄武町総合計画

# 後期実施計画書

様式1

No. 09010070

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	B	
単位施策	1 土地基盤の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	水土里情報システム利活用事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	農地の有効利用の促進	関係課	#N/A	
事業目標	農地情報の共有化	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	無	
住民協働	無	関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成25年度 事業内容	平成26年度 事業内容	平成27年度 事業内容	平成28年度 事業内容	平成29年度 事業内容
計 画 内 容	水土里情報システムの利用	水土里情報システムの利用 200千円	水土里情報システムの利用 200千円 オルソ画像更新(2カ年分) 692千円	水土里情報システムの利用 200千円 オルソ画像更新 346千円	水土里情報システムの利用 200千円 オルソ画像更新 346千円	水土里情報システムの利用 200千円 オルソ画像更新 346千円
	事業費(千円)	2,730	200	892	546	546
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	2,730	200	892	546	546	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	1,097	200	897	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	1,097	200	897			
関 連 事 項	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】	水土里情報システムの利用	水土里情報システムの利用 オルソ画像更新(2カ年分)			
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	農地情報の共有化	農地情報の共有化	農地情報の共有化	農地情報の共有化
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	100%	101%	0%	0%
	全体達成率	7%	40%	40%	40%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	水土里情報システム利活用事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	農務係長	南 慎一

様式1  
平成26年度実施  
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	農業関連情報	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	水土里情報システム	
【抱える課題やニーズは】	農業関連情報の複雑化、煩雑化	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	農地や農業用施設用地、農業水利施設等の有効活用	① 水土里情報システムの利活用	目標年度	平成26年度
			目標値	100%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	農地情報の提供、耕作放棄地の抑制、水利施設の利用促進や長寿命化	②	実績値	100%
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	水土里情報システムの利活用	水土里情報システムを導入し、利活用を図った。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	農地や水利施設等に関する地図情報を有効活用し、農村環境の保全と農業の持続的発展を図るため、必要な事業である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		システムを活用することにより、農地情報等を有効に活用することができた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		インターネット上で閲覧するため、システム使用料以外の経費負担がない。
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		町でシステム使用料の負担をし活用しているため、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
/公平でない	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<b>A</b>		
農村環境の保全と農業の持続的発展を図る事業であるため、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
水土里情報システムの活用により煩雑する情報整理と施設の長寿命化が期待できることから、引き続き実施すべき事業であり、現状維持が適当である。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了  休止  廃止